

税法Ⅱ

科目ナンバリング PUL-304

選択 2単位

上條 克彦

1. 授業の概要(ねらい)

二人以上集まって共同生活をすれば税が生まれます。

どんな人も、共同体に身を置き限り税から逃れることはできません。

近代社会の税は、役務でなく金銭によって徴収され、その額は法律によって決まります。

税法Ⅰは、この税を決める法律(税法)について、基礎から講義するとともに、必要に応じて受講者との討論も行います。

税法は、憲法、民法、会社法、会計学など、他の分野の科目と深くかかわるので、税法を学ぶことでこれらの知識を統合し、実社会において真に役立つものにすることができます。

2. 授業の到達目標

①税法の基本的事項を修得すること

②税法を学びながら、憲法や民法、会社法等の理解をさらに深め、実社会で生かせるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

①授業貢献度、②中間テスト(又は中間レポート)及び③期末テスト(又は期末レポート)の総合評価

評価配分割合:①30%、②30%、③40%

4. 教科書・参考文献

教科書

プリント配付

参考文献

川田剛 『租税法入門』 (財団法人大蔵財務協会)

図子善信 『税法概論』 (財団法人大蔵財務協会)

5. 準備学修の内容

毎回授業でプリントを配付するので、自分で書き込みをしてプリントを自分なりのノートにした上で、それを持参して次の授業に臨むこと

6. その他履修上の注意事項

税法は、企業会計と深くかかわりますので、できれば企業会計法Ⅱをあわせて履修してください

7. 授業内容

- 【第1回】 法人税
法人税の概要、法人税と所得税の関係、法人税申告と企業会計との関係について学ぶ
- 【第2回】 法人税
法人税の納税義務者(普通法人、協同組合、公益法人、人格のない社団、公共法人)、課税所得、税率について学ぶ
- 【第3回】 法人税
益金と損金、確定決算、申告調整、公正処理基準について学ぶ
- 【第4回】 法人税
役員給与、寄付金、交際費、減価償却について学ぶ
- 【第5回】 法人税
資産の無償譲渡、受取配当について学ぶ
- 【第6回】 酒税・たばこ税・間接諸税
直接税と間接税の違い、酒税・たばこ税・間接諸税の概要について学ぶ
- 【第7回】 消費税・地方消費税
消費税・地方消費税の概要、個別消費税(酒税・たばこ税・間接諸税)と消費税の違いについて学ぶ
- 【第8回】 前半の講義のまとめと中間テストを行う
- 【第9回】 消費税・地方消費税
消費税の課税取引・不課税取引・免税取引・非課税取引について学ぶ
- 【第10回】 消費税・地方消費税
消費税の免税事業者、簡易課税、軽減税率、インボイス方式について学ぶ
- 【第11回】 国際課税
居住者而非居住者、全世界所得課税と源泉所得課税、外国税額控除について学ぶ
- 【第12回】 国際課税
タックスヘイブン、移転価格税制について学ぶ
- 【第13回】 租税回避
租税回避スキームについて学ぶ
- 【第14回】 権利救済制度
不服審査と税務訴訟について学ぶ
- 【第15回】 後半の講義のまとめと期末テストを行う